

**授業科目名/Subject**  
**日本の社会**

学科区分/Department	学年/Year	形態/Term	単位/Credits	クラス/担当者 Class/Instructor
国際関係学科	2	半期	4	服部 慶巨

**授業概要 / Outline**

授業のテーマ/Overall Theme for Course  
日本(人)的行動様式の理解

授業のねらい/Goal

日本はその特異な社会構造・文化体系から「誤解」「嘲笑」の対象にされやすい国であるといえる。しかし、正確な「日本(人)像」を諸外国に対して発信できる日本人も少ない。そういった側面から、日本人の志向(または思考)を解説していく。

授業の方法/Content

日本(人)および日本社会を理解するための概念・理論・キーワードを紹介し、社会科学的な視点から講義する。参考書やプリント、視聴覚資料などを用い、理解の助けとする。様々なメディアを通じて得られる情報を、随時紹介する。

**授業計画 / Teaching Plan**

- 第1回 シラバス授業(講義の方針、展開方法、基礎概念、目標などの確認)
- 第2回 文化とパーソナリティ(1) 概要(a)
- 第3回 文化とパーソナリティ(2) 概要(b)
- 第4回 文化とパーソナリティ(3) 県民性
- 第5回 文化とパーソナリティ(4) 縮み志向
- 第6回 文化とパーソナリティ(5) タテ社会
- 第7回 文化とパーソナリティ(6) 甘え
- 第8回 日本(人)的発想の根本(1) 宗教観と自然観
- 第9回 日本(人)的発想の根本(2) 縁(えん・えにし)
- 第10回 日本(人)的発想の根本(3) ハラ(腹)と心
- 第11回 日本(人)的コミュニケーション(1) 以心伝心
- 第12回 日本(人)的コミュニケーション(2) 恥の文化(義理人情)
- 第13回 日本(人)的コミュニケーション(3) 間人主義
- 第14回 日本(人)的コミュニケーション(4) 公と私
- 第15回 日本(人)的コミュニケーション(5) 和
- 第16回 日本的経営(1) 概要
- 第17回 日本的経営(2) 稟議制度と根回し
- 第18回 日本的経営(3) 日本的官僚制
- 第19回 日本的家族観(1) イエ制度
- 第20回 日本的家族観(2) 戦後の問題点1
- 第21回 日本的家族観(3) 戦後の問題点2
- 第22回 日本的エスノセントリズム(1)
- 第23回 日本的エスノセントリズム(2)
- 第24回 放送用語から見た日本社会(1) 概要
- 第25回 放送用語から見た日本社会(2) 人種・民族・国家観
- 第26回 放送用語から見た日本社会(3) ジェンダー
- 第27回 放送用語から見た日本社会(4) 差別問題
- 第28回 放送用語から見た日本社会(5) その他
- 第29回 日本社会における「日本人/国際人」観
- 第30回 まとめ

## ■ 教材 / Teaching Materials

教科書/Textbooks

プリント配布 / Handouts

必携参考書/Required reference books

著者名/Authors	服部 慶亘
書名/Title of books	補強版ストレス・スパイラル 悩める時代の社会学
出版社/Publishers	人間の科学社
ISBN	ISBN4822602389
備考/Notes	旧版の『ストレス・スパイラル』を持っている学生は、それをテキストとして使用する。

推薦参考書/Recommended reference books

プリント配布 / Handouts

なし / Nothing

## ■ 履修条件 / Prerequisites

学科・専攻にかかわらず、日本社会・日本人に関する知識を吸収したいという意識の高い学生を大歓迎する。なお、本年度からセメスター(前期集中)講義となるので、旧カリキュラム適用者は時間割に注意すること。

## ■ 成績評価 / Evaluation

終講試験と平常点で評価する。

## ■ その他 / Others

履修学生の興味・関心事が講義内容に反映されるので、講義には積極的に「参加」してほしい。講義連絡などにWebCT(<http://webct.ir.nihon-u.ac.jp:8900/>)を使用する。

## ■ 連絡先 / Contact Information

服部 慶亘 /